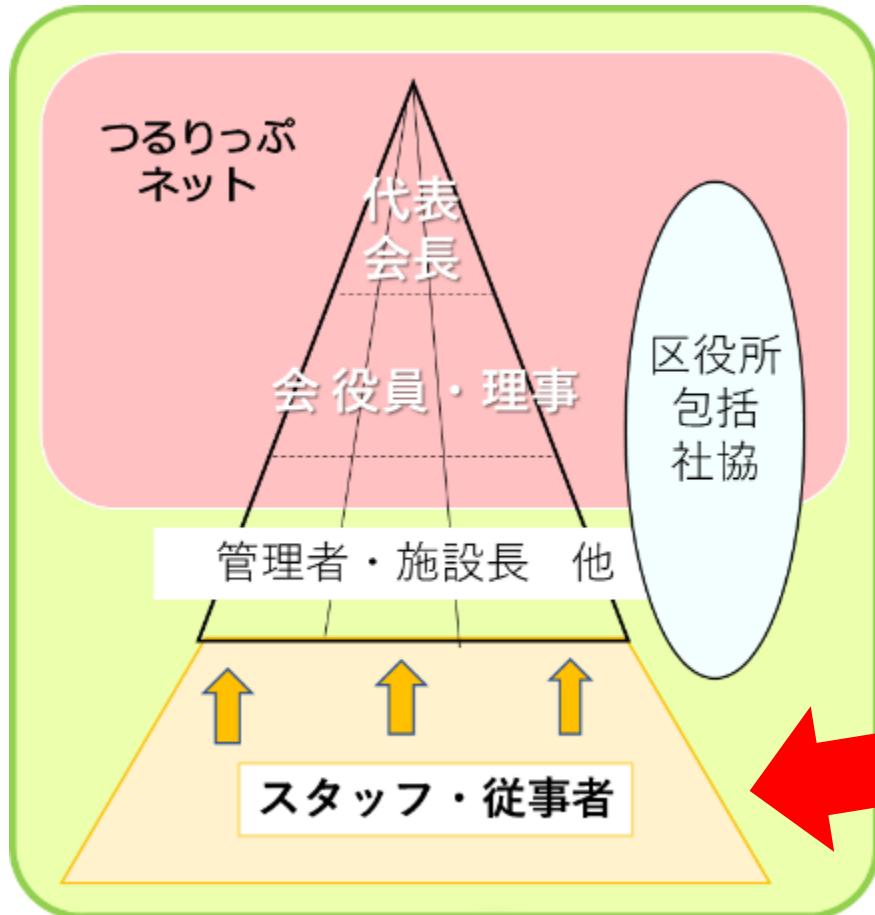


## テーマ② 『多職種との連携』 に関する報告

「こつる会」の立ち上げとその活動を通して  
多職種のネットワーク構築の取り組み

鶴見区在宅医療・介護連携相談支援室  
(受託法人：鶴見区医師会)

# 1、こつる会 はじめたきっかけ



従事者的人に鶴見区の活動を理解してもらうことでより強固な多職種連携を実現することができるのでは。全ての医療・介護従事者を対象とした、多職種が集う交流の場をつくろうと企画

“こつる会”



# 2、こつる会　－H29年度初回実施内容－



## こつる会とは

鶴見区の医療・介護従事者を対象とした、職種・役職問わず参加いただける多職種が集う交流の場



## 内容

- ・ミニ講座での知識習得
- ・情報共有

## ・こつる会

## オリジナルカードゲーム



### 3、オリジナルカードゲームとは



**目的：医療・介護の連携における課題抽出**

カードゲームを考案したきっかけ

- ・初年度で、今後の相談室の取り組むべき課題を知りたい。
- ・たくさんの意見が欲しい！
  - ・テーマ限定すると難しいよね。
  - ・何人の人が思ってる課題か知りたい！
    - ・現場で働く人の生の声がききたい！
    - ・多職種で交流できる機会としたい！
    - ・グループワークだと声の大きい人に左右されない。
    - ・はじめて参加する人でも意見の言える工夫を！



# ごつる会オリジナル カードゲーム 手順

用意するもの：白紙のカード(1人5~6枚)

役割：進行係、参加者(多職種)

①参加者に白紙のカードを配り、以下を記入してもらう。

## 「日々の仕事でのクエスチョン（質問・疑問・問題点）？」

・1つのカードに1つのクエスチョン・2人以上が思っていそうな事・職種や総称での記入。

②進行係は、参加者が記入したカードを回収。シャッフルする。

③進行係はトランプの要領で、参加者にカードを配る。

④参加者は、配られたカードの内容を確認する。

⑤このゲームは「似た内容のカードを集めるゲーム」。

・「似た」とは…職種しばり・悩みごとしばり・キーワードしばり、分類はなんでもOK。

・似たカードは何枚でもok 何組できてもok。そろっていないカードは、持ち続けます。

⑥参加者は会場内を歩き、相手をみつけて以下を行う。

## 「自己紹介」「カード見せ合い」「似たカードを束ねる」

・相手を変えて繰り返し行う。

⑦多く集まったカードのクエスチョンを発表してもらう。

⑧参加者でクエスチョンを解決できる人がいれば回答してもらう。

# 4. こつる会オリジナルカードゲームで記入されたクエスチョン

## 【職種の役割系クエスチョン】

薬剤師は薬を配達だけしてくれたらいいという依頼が多い。／訪問看護の必要性を理解してもらえない／ターミナル期の麻薬オーダー時在庫を扱っているところを探すのが大変／訪問リハビリを活用してもらいたい／訪問リハビリと訪問鍼灸接骨院の違いは？どんなことをするの？／定期巡回サービスの研修をしてほしい

## 【多職種コミュニケーション系クエスチョン】

様々な介護サービスを利用されている方の情報共有がしづらい。／主治医の先生に相談に行く方法・タイミングに悩む／かかりつけ医との連絡はどのようにとるのがいいか？通院時同行？電話？FAX？／看護師への上手な情報提供はどうするの？／医学用語が分からず／訪問看護の指示書を書かない医師がいる／在宅医からの情報や在宅での様子がわかりづらい／利用者について、文書のみのやりとりが多く、実体がつかみづらい／／病院が退院カンファレンスをしてくれない／意外と実務の上で同職種との連携がとりにくい。／ヘルパーとの情報共有がうまくいかない。

## 【多職種連携に関するクエスチョン】

地域の連携を深めたいが、何から始めればよいかわからない。／緊急時の連絡連携が弱い／看取りの支援はどのように？／医療・介護連携（多職種連携）を図るうえで、一番大切なと思っている事は何ですか？／担当者会議が世間話ばかりで終わらない。／地域ケア会議ってどこでどんなメンバーで何をしているの？

## 【相談窓口、一覧表などに関するクエスチョン】

各科ごとの往診の歯科医師一覧表がほしい（エリアなど）／訪問ドクターのリスト紹介してほしい／介護事業所の詳細がわかりやすい、鶴見区版のパンフレットがほしい／窓口がいろいろできたが、どこにどの問題を相談したらいいの？／キャラバンメイト連絡会ってあるの？

～参加者96人 174枚のクエスチョンから一部紹介～

## 【職場環境系クエスチョン】

訪問系サービスは1対1の為、部下の仕事ぶりがわかりにくい。／利用者様の方位か利益追求かどちらが優先するかが難しい。／スタッフが長く勤務してもらえる環境をつくるにはどうしたらいい？／職員同士のコミュニケーション・チーム作りが大変

## 【人手不足に関するクエスチョン】

人手不足どうにかならないか／求人にお金がかかりすぎる／人員不足で残業が多い／労働時間が長く体力が持たず身体をこわしてしまう／お昼ごはんを摂る時間がない／在宅医が増えない

## 【制度・法改正に関するクエスチョン】

介護報酬の仕組みの研修をしてほしい／制度の改正が多くあり、ついていけない／医療報酬の仕組みが分からず／制度の狭間を埋めるはずのインフォーマル支援が限られている

## 【書類関係クエスチョン】

書類がたくさんあって毎月大変／サービス事業所に提出する診療情報提供書など鶴見区で統一だったら良いと思う／病院によって情報提供の仕方が違う

## 【交流会・勉強会系クエスチョン】

会社・資格、立場を超えて もっとざっくりお話をできる場がほしい／勉強会・研修会について開催情報が届かない。



## 【その他クエスチョン】

今後鶴見区で働き続けたいか？／鶴見区の良いところは？／利用者さんに心を開いてもらうにはどうしたらいいの？

# 5. こつる会 実施後アンケート

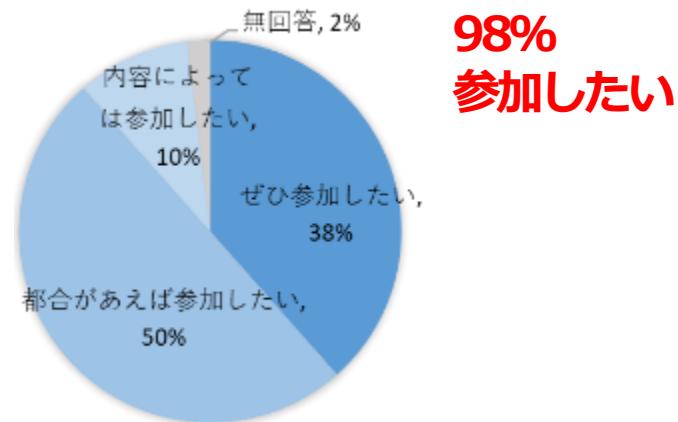
## こつる会に参加した目的は？



## 第1回こつる会参加者 合計96名

医師7名・歯科医師5名・薬剤師5名・訪問看護師9名  
地域連携室2名・包括支援センター9名・リハビリ系職種12名  
精神福祉士1名・ケアマネージャー19名・相談員4名  
ヘルパー2名・グループホーム、通所系従事者7名  
その他3名・大阪市2名、区役所6名、コーディネーター3名

## こつる会にまた参加したいですか？



## 今後どのような会を希望しますか？



## 相談支援室に期待する役割は？



# 6. 2年目からの取り組み

## 研修会・交流会の開催

### ●ケアマネ×医師×訪問看護合同研修会



### ●こつる会 飲み会



### ●多職種連携研修会



## 情報共有ツール作成

### ●医師とケアマネとの連絡票

医師と介護支援専門員との連絡票	
氏名 性別 年齢 TEL FAX	連絡専門員 氏名 性別 年齢 TEL FAX
貴様よりお電話を下さります。下記の件についてお尋ねする場合にご協力をお願いいたします。 お問い合わせ内容はお問い合わせ用紙、ご報告の表、連絡票等に記入してご返信をお願いします。	
利用者 性別 年齢 既往歴 既往疾患 既往手術 既往アレルギー <他の内容>	小児科 内科 外科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科 歯科 精神科 産婦人科 <他の内容>
連絡からのお客様（選択） <input type="checkbox"/> 連絡合意であります（年齢：方 年 律儀に会話を下さい） <input type="checkbox"/> 連絡合意であります（年齢：方 年 律儀に会話を下さい） <input type="checkbox"/> お文書で返信します（FAXや電子メール） <input type="checkbox"/> お口で返信します <input type="checkbox"/> お口で返信します（年齢：方 年 律儀な言葉で会話を下さい） <input type="checkbox"/> お口で返信します（年齢：方 年 律儀な言葉で会話を下さい）	
平成 年 月 日 診療報酬 連絡票	

### ●鶴見区医療ガイドブック



### ●訪問看護事業所一覧表



## 情報発信

### ●ZAIKAI通信の発行



第2回鶴見区  
在宅医療・介護連携講演会  
Withこつる会  
令和2年3月7日(土)14:30～  
場所：太閤園